

# 「医療連携と退院後受療に係る調査」について

## 医療機関側からの調査について

### 1. 調査の目的

特定機能病院などへの DPC の導入により入院日数の短縮が進む中で、退院後の患者の受療に問題が生じていないか、地域医療への混乱が生じていないかが「医療の質」として大きな焦点となる。そこで退院後の他医療機関での受療、他医療機関から見た評価、および退院後の医療費などに焦点を当て調査を行う。

### 2. 班構成

酒巻哲夫 群馬大学医療情報部教授  
池上直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教授  
熊本一郎 鹿児島大学医療情報管理学教授  
三上裕司 総合病院東香里病院院長  
安川林良 松下記念病院院長

### 3. 調査方法

(1) 調査方法：アンケート調査による。「DPC 病院に対する調査」(1次調査)をもとに「DPC 病院と連携の濃厚な医療機関・施設に対する調査」(2次調査)、および「保険者側からの調査」からなる。

#### (2) 調査対象病院

##### DPC 分科会で承認した調査対象特定機能病院(24 病院)

札幌医科大学医学部附属病院、旭川医科大学医学部附属病院、秋田大学医学部附属病院、福島県立医科大学医学部附属病院、自治医科大学附属病院、群馬大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、東京大学医学部附属病院、聖マリアンナ医科大学病院、新潟大学医歯学総合病院、山梨大学医学部附属病院、藤田保健衛生大学病院、三重大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、国立循環器病センター、神戸大学医学部附属病院、島根大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院、熊本大学医学部附属病院、宮崎大学医学部附属病院、琉球大学医学部附属病院

##### 説明会以降に調査への参加申込みを受けた病院(7 病院)

健康保険諫早総合病院、医療財団法人大樹会総合病院回生病院、社会保険中京病院、岐阜社会保険病院、医療法人共愛会戸畑共立病院、敬愛会中頭病院、株式会社麻生飯塚病院

#### (3) 調査票(別紙 1 - 1、1 - 2)

#### 4 . 調査の実施状況

12月17日	調査説明会開催
12月24日	調査票の発送
	ただし「DPC 病院に対する調査」(1次調査)
1月31日	データ提出期限
	ただし「DPC 病院に対する調査」(1次調査)
	(データ収集状況の詳細は、別紙2)
3月4日	調査票の発送
	ただし「DPC 病院と連携の濃厚な医療機関・施設に対する調査」(2次調査)
3月18日	データ提出期限
	ただし「DPC 病院に対する調査」(1次調査)
	(データ収集状況の詳細は、別紙2)
2月1日~28日	1次調査分データ集計・エラーチェック等
	(2次調査分は現在進行中)

#### 5 . 調査結果の粗集計

別紙3

## 保険者側からの調査の検討状況について

保険者側からの調査については、本年度は、下記のような取り組みを実施した。

政府管掌健康保険については、社会保険庁に依頼し、別紙4の調査票に基づきどのようなデータを保有しているかについて把握した。

組合管掌健康保険については、健康保険組合連合会に対して、調査の進め方(調査内容を含む)について検討の協力を依頼したところ、健康保険組合連合会が独自に把握している情報に基づいて、ある程度の調査を実施可能な環境が整っている可能性のある健康保険組合の概要を得た。

国民健康保険については、全国の国民健康保険連合会に依頼し、別紙4の調査票に基づきどのようなデータを保有しているかについて把握した。

今後、上記の結果を踏まえて、来年度、どのような調査をどの程度の負担で実施できるかについて検討する予定。(来年度調査のイメージは参考参照)